

Hot Paper Seminar 難治疾患研究所

講演者

石野史敏 教授

東京医科歯科大学 難治疾患研究所

エピジェネティクス分野



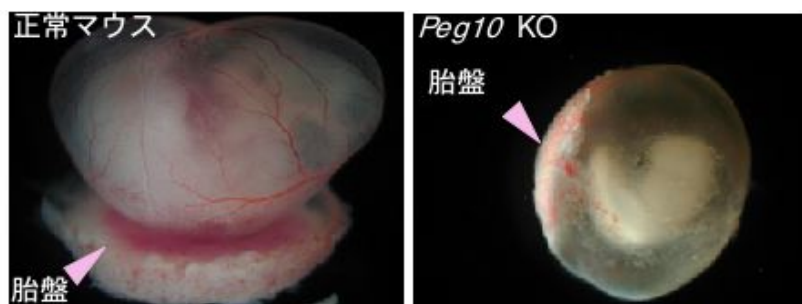
演題

哺乳類の個体発生・系統発生におけるレトロトランスポソンの役割 ーレトロトランスポソン由来の哺乳類特異的遺伝子 *Peg10* の機能についてー

JST (理事長: 沖村憲樹) と東京医科歯科大学 (学長: 鈴木章夫) の研究チームは、哺乳類ゲノムの中に、個体発生に必須の機能を果たすレトロトランスポソン由来の遺伝子が存在することを発見した。この遺伝子は、哺乳類にのみ存在し、哺乳類に特徴的な臓器である胎盤の形成に関与する機能を持っていた。

日 時 : 平成18年 2月 14日 (火) 17:00

場 所 : 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 会議室



レトロトランスポソン由来の遺伝子 *Peg10* をノックアウトしたマウスでは、胎盤の未発達により胎仔が致死となる。

(写真は妊娠 11日目)

入場無料・参加登録不要

Nature Genetics

38 (1) 101-106, 2006

主催: 東京医科歯科大学
難治疾患研究所

連絡先
東京医科歯科大学
難治疾患研究所 事務部
TEL: 03-5280-8052
E-mail: mri.adm@cmn.tmd.ac.jp

<http://www.tmd.ac.jp/cmnm/soumu/kouhou/kisyakaiken20051209.htm>